

2021年度

「復興知」を活用した福島イノベーション・コースト構想促進事業

原子力災害復興セミナー報告書

1月 原子力災害復興セミナー

福島県双葉町を拠点に「原子力災害復興セミナー」を開催

長崎大学は福島イノベーション・コースト構想促進事業「復興知」事業の令和3年度採択事業である「災害・被ばく医療科学分野の人材育成による知の交流拠点構築事業」の一環として、令和4年1月13日に東日本大震災・原子力災害伝承館にて「原子力災害復興セミナー」をオンラインで開催しました。本セミナーは一般社団法人日本原子力産業協会にご協力いただき、原発立地及び周辺自治体の職員をはじめ、電力会社や医療機関の職員など約60名が参加しました。

本セミナーは、福島第一原子力発電所事故からの地域復興、廃炉・処理水の現状を知ること、原子力災害からの復興過程における住民、地方自治体、専門家といったステークホルダーの役割について考えることを目的として実施しました。

今後も原発立地及び周辺自治体の職員等を中心として関係企業や教職員、医療機関職員などを対象としたセミナーを行っていきます。

- ・日時：2022年1月13日（13：00～16：40）
- ・共催：東日本大震災・原子力災害伝承館
- ・対象者：原発立地及び周辺自治体の職員等
- ・参加人数：59名
- ・内容：放射線被ばくと健康影響（若年層や子どもへの影響）
原子力災害に対する自治体の備え
福島第一原子力発電所の廃炉に向けた取組とALPS処理水の海洋放出について



1月 原子力災害復興セミナー

2021年度 大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業
(福島イノベーション・コースト構想推進機構)

原子力災害復興セミナー

福島をこれから活かす

2021



高村 昇
・長崎大学原研核医学医科学研究所 教授
・東日本大震災・原子力災害伝承館 館長



井出 寿一
・一般社団法人かわうちラボ 事務局長



木野 正登
・経済産業省資源エネルギー庁 福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水・処理水対策官
・廃炉・汚染水・処理水対策推進室 現地調整所所長

2022.1.13 (木)
13:00 - 16:40
オンラインセミナー (Webex)

【対 象】 原発立地及び周辺自治体の職員等
【申込フォーム】 <https://forms.office.com/r/9dEpKsB8qs>
【申込締切】 2021年12月 26日 (日) まで
【参加費】 無料

▶ 13:05 - 14:00 放射線被ばくと健康影響 (若年層や子どもへの影響)

▶ 14:15 - 15:15 原子力災害に対する自治体の備え

▶ 15:30 - 16:30 福島第一原子力発電所の廃炉・処理水について

【主 催】 長崎大学 福島未来創造支援研究センター
【共 催】 東日本大震災・原子力災害伝承館
【お問合せ先】 長崎大学 福島未来創造支援研究センター
TEL:095-819-7098 Email:fukushima@ml.nagasaki-u.ac.jp



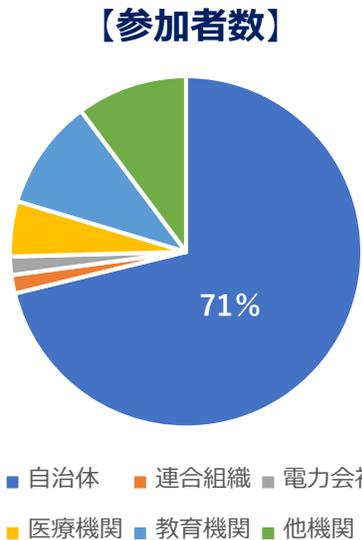
プログラム

時間	所属	講師	タイトル
13:00 ~	長崎大学	高村昇教授	開会挨拶
13:05 ~ 14:00 55分	長崎大学	高村昇教授	放射線被ばくと健康影響 (若年層や子どもへの影響)
14:00 ~ 14:15 15分			休憩
14:15 ~ 15:15 60分	かわうちラボ	井出寿一氏	原子力災害に対する自治体の備え
15:15 ~ 15:30 15分			休憩
15:30 ~ 16:30 60分	経済産業省	木野正登氏	福島第一原子力発電所の廃炉・処理水について
16:30 ~	東日本大震災・原子力災害伝承館	小林孝副館長	閉会挨拶

1月 原子力災害復興セミナーアンケート結果

参加者数

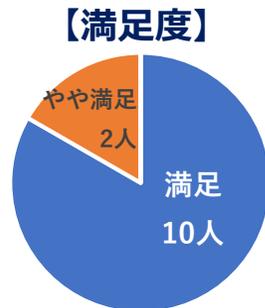
	人数
自治体	42
連合組織	1
電力会社	1
医療機関	3
教育機関	6
他機関	6
計	59



満足度結果

単位：人

	満足度	テーマ	内容	進行
満足	10	9	10	9
やや満足	2	3	2	3
ふつう	0	0	0	0
やや不満	0	0	0	0
不満	0	0	0	0



意見・質問等

今回のセミナーを受講して良かったことや感じたことはありますか？

放射線について、よく理解することができた。住民の理解として健康被害に直結するイメージがあるため、生活圏に当たり前に存在するものであること、正しく理解することが大切だと感じた。

放射線影響をどのように市民に正しく理解していただけるか、考える良い機会となった。その苦勞と工夫を講師御三方より強く感じた。

現場での体験したお話、また今後の廃炉にむけた準備等、日頃聞けない話を聞いて大変参考になりました。

自分が置かれている立場と違う方からのお話がとても新鮮でかつ学びが多かった。参加者が行政関係の方が多かったので、意見交換などを行っているところも聞いてみたかった。

原発事故による住民の方の話はテレビ等で聞く機会があっても、行政側特に直に住民対応を行った市町村職員の方の話を聞く機会はなかったため貴重な機会になりました。

福島県内で実務を経験されている方からの講義が聞けるところ。

震災当初、特に若手職員に葛藤等があったと聞き、自分自身や他の役場職員を含めて、実際に同様の災害等が起こった場合に、どこまでの対応ができるのか改めて考えさせられた。

当時の状況がよくわかるとともに、基本的知識の習得につながって大変参考になった。

原発立地並びに周辺自治体の職員に適した内容のセミナーと思われた。

各テーマについて詳細な情報を聞くことができ、非常に有益であった。

1月 原子力災害復興セミナーアンケート結果

意見・質問等

今回のセミナーで新たな学びがございましたらお答えください。

自治体職員として、原発事故の対応、復興に向けての取り組みなど生の経験談が聞けて良かった。

- ・放射線影響の遺伝を懸念する市民アンケート結果。
- ・かわうちラボ井出講師より、1件あたりの除染等作業費に約700万円必要であったこと。

自分達が考える安心のレベルと住民の方が考える安心・安全のレベル（風評被害等含め）をどう埋めていく問題の難しさを感じ、勉強になりました。

高村先生の講演では放射線の間接的影響を痛感している。内部・外部被ばくではなく、それを含めて生活に寄り添った支援が必要だと感じた。
井出先生の講演では、避難者の把握の難しさをどのように解決していくのか、とても興味深かった。ぜひ、行政も住民も安心して登録できるような管理方法を検討していただきたいと思った。
木野先生の講演では、トリチウムについて分かりやすくご説明いただき、汚染水がどのような過程で処理をされているのかを理解することができた。風評被害をどのように抑えるのかはとても重要なことでもあるが、住民自身（関係職種）が風評被害を生み出しているような気がしています。
分かりあうことは難しいが、理解する姿勢をみんなが持って課題に取り組めるといいな、と思いました。

事前の準備と広報の重要性を改めて感じました。例えば処理水の風評被害対策として、コロナ関連のCMのように国からの正しい情報の提供によって防げることもあるのではと思います。講演会などに参加いただける方には触れていただくことがある情報も、なかなかその他多くの方には工夫が必要とってしまいました。

放射線に関する基本的知識、避難とその後の実態

平時における具体的な準備などが参考となった。

原子力災害に対する自治体の対応について、詳細な話を聞くのは初めてでした。

その他、ご意見・ご要望

原子力防災を考える立場にある行政職員は必見の内容であった。福島に住まう方の放射線影響についての理解度が高いのは長崎大学様のリスクコミュニケーションの賜物と感じた。

またぜひこのようなセミナーがあれば参加したいと思います。よろしくお願いいたします。

参加者の背景が多様だったので、ディスカッションの時間があると良かったのかな、と思いました。

オンデマンド配信も非常にありがたいのですが、講演に使われた資料を事前または事後に配布いただける（権利関係等様々事情はあると存じますが、、、）とさらにありがたいです。

講演ありがとうございました。実際に復興にあられた方々の体験談等、非常に参考になりました。

Webexの利用が初めてでこちらの不手際であったが、ライブで講演が聞けなかったのが残念であった。
しかし、配信があり大変良かった。

国内、海外、各分野・階層毎にセミナーを展開されており、今後も継続的のお願いしたい。各自治体の人口増に繋がるリスクコミュニケーションの活動に期待します。

次年度も受講させていただきたいと思います。